

# 石川県かほく市

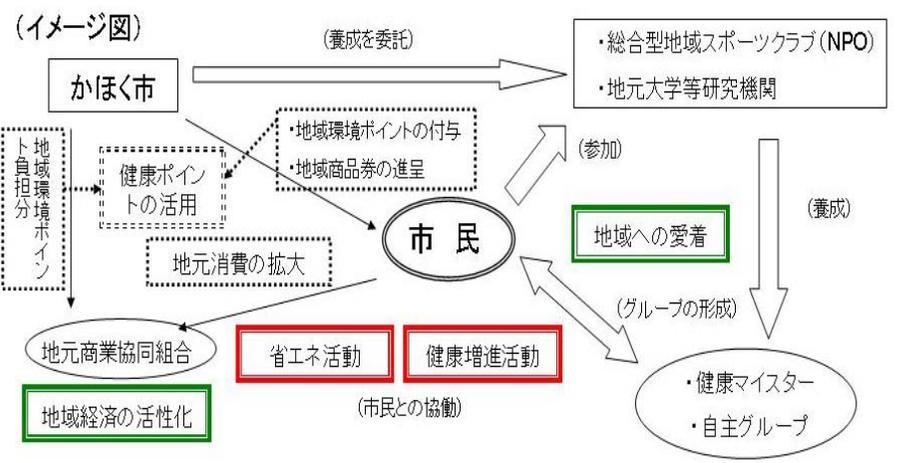
課題
医療費の増大と都市部への人材・資金の流出

実現を目指していく地域のイメージ
健康づくり・省エネ活動を通じた地域循環型社会



## 調査事業の概要

市民との協働による健康づくり・省エネ活動を通して地域への愛着を育むとともに、市民活動と地元消費の拡大を結び付けることで、地域での資金循環による地域経済の活性化や雇用が創出され、市民の定住や資金循環を目指す。



## 対応策の提示

＜これまでのノウハウ、対応策＞

行政主導により医療・介護等それぞれの目的に応じた取組みを行ない、市民の健康増進への意識向上を図っている。  
また、地元商業協同組合が発行する「にゃんたろうカード」のポイントを活用し地元消費の促進を図っている。

＜調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策＞

「健康づくり」を通して地域資源の循環と地域活性化を図ろうとしたもので、「ノルディックウォーキング」等を取り入れた「アウトドア フィットネス」を通して、「自主グループ」の形成や「健康づくりマイスター」の育成を図り、市民自らが取組み基礎を形成する。  
また、「市民100日健康・体力づくり運動」や省エネ活動への「かほく市地域環境ポイント」の付与により、市民活動の経済活動への意識づけにつなげる。  
その結果、市民の「健康づくり」や「省エネ活動」を地域での消費に還元することが可能となった。

＜今回の調査により得られた新たな課題＞

省エネ活動・健康増進活動の地元消費への還元を促進するには、ポイント付与の一元化を図るなど、より一層、利用者の利便性を考慮した仕組みの構築が必要である。